

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2020年2月7日
【四半期会計期間】	第36期第3四半期（自 2019年10月1日 至 2019年12月31日）
【会社名】	株式会社アルゴグラフィックス
【英訳名】	ARGO GRAPHICS Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役 会長執行役員（CEO） 藤澤 義磨
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋箱崎町5番14号
【電話番号】	03（5641）2018
【事務連絡者氏名】	取締役 常務執行役員 管理本部長 長谷部 邦雄
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区日本橋箱崎町5番14号
【電話番号】	03（5641）2018
【事務連絡者氏名】	取締役 常務執行役員 管理本部長 長谷部 邦雄
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第35期 第3四半期 連結累計期間	第36期 第3四半期 連結累計期間	第35期
会計期間	自 2018年4月1日 至 2018年12月31日	自 2019年4月1日 至 2019年12月31日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高 (第3四半期連結会計期間) (千円)	32,643,930 (10,626,255)	35,327,461 (11,176,001)	45,174,445
経常利益 (千円)	3,898,828	5,022,125	5,250,318
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (第3四半期連結会計期間) (千円)	2,603,632 (914,902)	3,275,982 (1,044,682)	3,530,110
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	2,001,067	4,251,826	3,839,961
純資産額 (千円)	27,492,688	32,237,089	29,331,581
総資産額 (千円)	39,949,260	45,978,378	44,918,879
1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (第3四半期連結会計期間) (円)	121.93 (42.85)	153.41 (48.92)	165.32
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	121.93	153.41	165.32
自己資本比率 (%)	64.4	66.5	61.3
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	1,947,217	4,312,258	4,271,750
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	571,071	1,173,617	278,713
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	1,010,429	1,349,118	1,010,852
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	13,088,155	17,477,100	15,676,249

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 1株当たり四半期(当期)純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、算定上の基礎となる期中平均株式数から控除する自己株式数に、「株式給付信託(J-ESOP)」及び「株式給付信託(BBT)」制度の信託口が所有する当社株式を含めております。

4 当社は、2019年4月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。第35期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期(当期)純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額を算定しております。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、米中貿易交渉の進展を受けて世界的な株高が進む一方、消費増税や相次ぐ自然災害、また中東・東アジア情勢の緊迫化等の影響が懸念され、先行きへの不透明感は依然強い状況が続いております。

このような状況下、当社グループでは、各社においてそれぞれの特長を活かした事業戦略を推進しつつグループ間の連携促進を強化することで事業基盤の一層のビジネスの拡大に取り組んでまいりました。

その結果として、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、アルゴグラフィックス及びグループ各社の業績が堅調に推移したことから、売上高は35,327百万円（前年同期比8.2%増）となりました。営業利益につきましては、増収効果に加えコストコントロールに努めたことから、4,749百万円（同29.5%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、3,275百万円（同25.8%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

PLM事業につきましては、次世代技術への対応や開発基盤の強化等を目指した自動車業界のIT投資需要を受け、外部顧客への売上高が33,949百万円（前年同期比8.5%増）、セグメント利益は4,665百万円（同28.6%増）となりました。連結子会社である㈱ジーダットが中心となって行うEDA事業につきましては、主力製品であるSX-Meisterの機能拡張と並行して当該製品を軸とした販促に取り組む一方、費用の見直し等も行い、外部顧客への売上高が1,378百万円（前年同期比0.9%増）、セグメント利益は84百万円（同111.0%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計及び負債純資産合計は、以下の要因により、前連結会計年度末に比べ1,059百万円増加し、45,978百万円となりました。

（資産）

流動資産は、現金及び預金が2,037百万円増加、受取手形及び売掛金が3,166百万円減少、電子記録債権が652百万円増加、リース投資資産が114百万円増加、有価証券が1,000百万円増加、商品が649百万円減少、仕掛品が14百万円減少、その他が394百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末比368百万円増の32,227百万円となりました。

固定資産は、有形固定資産が12百万円減少、無形固定資産が201百万円減少、投資その他の資産のうち、投資有価証券が947百万円増加、その他が41百万円減少したことにより、前連結会計年度末比691百万円増の13,751百万円となりました。

（負債）

流動負債は、買掛金が1,431百万円減少、未払法人税等が592百万円減少、賞与引当金が219百万円減少、役員賞与引当金が42百万円減少、その他が201百万円減少したことにより、前連結会計年度末比2,487百万円減の9,977百万円となりました。

固定負債は、退職給付に係る負債が142百万円増加、株式給付引当金が24百万円増加、役員株式給付引当金が9百万円増加、その他が464百万円増加したことにより、前連結会計年度末比641百万円増の3,763百万円となりました。

この結果、負債合計は前連結会計年度末比1,846百万円減の13,741百万円となりました。

（純資産）

純資産は、資本剰余金が44万円増加、利益剰余金が2,188百万円増加、その他有価証券評価差額金が755百万円増加、退職給付に係る調整累計額が26百万円増加、為替換算調整勘定が15百万円増加、非支配株主持分が126百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末比2,905百万円増の32,237百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、営業活動により得られた資金4,312百万円、投資活動により使用した資金1,173百万円、財務活動により使用した資金1,349百万円等を加味した結果、前連結会計年度末に比べ1,800百万円増加（11.5%増）し、17,477百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は4,312百万円となりました。

収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益5,009百万円、減価償却費48百万円、のれん償却額210百万円、退職給付に係る負債の増加額180百万円、株式給付引当金の増加額24百万円、役員株式給付引当金の増加額9百万円、前受金の増加額124百万円、売上債権の減少額2,514百万円、たな卸資産の減少額665百万円であります。

支出の主な内訳は、仕入債務の減少額1,431百万円、未払消費税等の減少額73百万円、賞与引当金の減少額219百万円、役員賞与引当金の減少額42百万円、前渡金の増加額323百万円、その他の流動資産の増加額71百万円、その他の流動負債の減少額382百万円、法人税等の支払額1,868百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1,173百万円となりました。

収入の主な内訳は、定期預金の払戻による収入1,077百万円、関係会社株式の売却による収入76百万円であり、支出の主な内訳は、定期預金の預入による支出1,288百万円、有形固定資産の取得による支出23百万円、投資有価証券の取得による支出1,010百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1,349百万円となりました。

支出の主な内訳は、連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出134百万円、配当金の支払額1,088百万円、非支配株主への配当金の支払額125百万円であります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は193百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	85,440,000
計	85,440,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年12月31日)	提出日現在発行数 (株) (2020年2月7日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	22,354,000	22,354,000	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株でありま す。
計	22,354,000	22,354,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年10月1日～ 2019年12月31日	-	22,354,000	-	1,873,136	-	1,980,536

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2019年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2019年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 598,800	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 21,751,600	217,516	-
単元未満株式	普通株式 3,600	-	一単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	22,354,000	-	-
総株主の議決権	-	217,516	-

(注) 株式給付信託(J-ESOP)及び株式給付信託(BBT)が所有する当社株式399,400株(議決権の数3,994個)につきましては、「完全議決権株式(その他)」に含めて表示しております。

【自己株式等】

2019年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(株)アルゴグラフィックス	東京都中央区日本橋 箱崎町5-14	598,800	-	598,800	2.68
計	-	598,800	-	598,800	2.68

(注) 株式給付信託(J-ESOP)及び株式給付信託(BBT)が所有する当社株式399,400株につきましては、上記自己株式等に含まれておりませんが、四半期連結財務諸表においては自己株式として処理しております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第3項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

また、四半期連結財務諸表規則第64条第4項及び第83条の2第3項により、四半期連結会計期間に係る四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書を作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2019年10月1日から2019年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,944,905	18,982,413
受取手形及び売掛金	11,136,789	7,970,114
電子記録債権	415,167	1,067,374
リース投資資産	765,829	880,596
有価証券	17,499	1,018,292
商品	1,290,049	640,335
仕掛品	180,281	165,842
原材料及び貯蔵品	4,210	3,232
その他	1,104,279	1,499,008
流動資産合計	31,859,011	32,227,210
固定資産		
有形固定資産	232,612	220,126
無形固定資産		
のれん	1,156,480	967,763
その他	59,330	46,152
無形固定資産合計	1,215,811	1,013,916
投資その他の資産		
投資有価証券	10,833,276	11,780,494
その他	778,167	736,631
投資その他の資産合計	11,611,443	12,517,125
固定資産合計	13,059,868	13,751,167
資産合計	44,918,879	45,978,378
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,497,955	6,066,282
未払法人税等	1,072,115	480,059
賞与引当金	582,599	362,601
役員賞与引当金	110,000	67,500
その他	3,202,769	3,001,528
流動負債合計	12,465,440	9,977,971
固定負債		
退職給付に係る負債	2,648,012	2,790,435
株式給付引当金	151,871	176,674
役員株式給付引当金	67,631	77,006
その他	254,342	719,201
固定負債合計	3,121,857	3,763,318
負債合計	15,587,298	13,741,289
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,873,136	1,873,136
資本剰余金	2,073,167	2,117,347
利益剰余金	21,417,044	23,605,269
自己株式	690,902	689,412
株主資本合計	24,672,445	26,906,341
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,078,205	3,833,216
退職給付に係る調整累計額	104,167	77,479
為替換算調整勘定	108,676	92,763
その他の包括利益累計額合計	2,865,361	3,662,973
新株予約権	208	208
非支配株主持分	1,793,565	1,667,565
純資産合計	29,331,581	32,237,089
負債純資産合計	44,918,879	45,978,378

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	32,643,930	35,327,461
売上原価	24,317,118	25,971,333
売上総利益	8,326,812	9,356,128
販売費及び一般管理費合計	4,659,685	4,606,960
営業利益	3,667,126	4,749,168
営業外収益		
受取利息	27,374	29,737
受取配当金	123,729	141,546
有価証券売却益	3,026	-
持分法による投資利益	56,184	59,518
デリバティブ評価益	-	23,458
その他	24,510	21,044
営業外収益合計	234,826	275,305
営業外費用		
支払利息	590	-
投資事業組合運用損	2,399	341
その他	134	2,006
営業外費用合計	3,124	2,348
経常利益	3,898,828	5,022,125
特別損失		
ゴルフ会員権評価損	550	-
関係会社株式売却損	4,306	12,925
特別損失合計	4,856	12,925
税金等調整前四半期純利益	3,893,972	5,009,199
法人税、住民税及び事業税	1,107,723	1,414,564
法人税等調整額	70,871	152,915
法人税等合計	1,178,595	1,567,479
四半期純利益	2,715,377	3,441,720
非支配株主に帰属する四半期純利益	111,744	165,738
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,603,632	3,275,982

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)
売上高	10,626,255	11,176,001
売上原価	7,797,681	8,165,911
売上総利益	2,828,573	3,010,089
販売費及び一般管理費合計	1,516,822	1,566,246
営業利益	1,311,751	1,443,843
営業外収益		
受取利息	8,051	10,195
受取配当金	55,818	71,361
有価証券売却益	3,026	-
投資事業組合運用益	-	433
持分法による投資利益	9,766	6,804
デリバティブ評価益	-	22,831
その他	449	14,857
営業外収益合計	77,112	126,484
営業外費用		
支払利息	13	-
投資事業組合運用損	1,199	-
その他	-	67
営業外費用合計	1,212	67
経常利益	1,387,651	1,570,259
特別損失		
ゴルフ会員権評価損	550	-
関係会社株式売却損	4,306	12,925
特別損失合計	4,856	12,925
税金等調整前四半期純利益	1,382,794	1,557,333
法人税、住民税及び事業税	353,404	444,975
法人税等調整額	84,836	45,129
法人税等合計	438,240	490,104
四半期純利益	944,554	1,067,229
非支配株主に帰属する四半期純利益	29,652	22,546
親会社株主に帰属する四半期純利益	914,902	1,044,682

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	2,715,377	3,441,720
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	756,430	755,011
為替換算調整勘定	25,585	42,894
退職給付に係る調整額	26,363	26,688
持分法適用会社に対する持分相当額	9,829	14,488
その他の包括利益合計	714,309	810,106
四半期包括利益	2,001,067	4,251,826
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,882,073	4,077,721
非支配株主に係る四半期包括利益	118,994	174,105

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	944,554	1,067,229
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,371,168	563,400
為替換算調整勘定	84,880	14,358
退職給付に係る調整額	8,787	8,895
持分法適用会社に対する持分相当額	24,523	7,653
その他の包括利益合計	1,252,976	579,000
四半期包括利益	308,421	1,646,230
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	360,005	1,621,602
非支配株主に係る四半期包括利益	51,583	24,627

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,893,972	5,009,199
減価償却費	66,200	48,026
のれん償却額	208,619	210,515
賞与引当金の増減額(は減少)	278,916	219,998
役員賞与引当金の増減額(は減少)	22,500	42,500
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	140,351	180,889
関係会社株式売却損益(は益)	-	12,925
株式給付引当金の増減額(は減少)	46,820	24,802
役員株式給付引当金の増減額(は減少)	18,332	9,375
受取利息及び受取配当金	151,103	171,284
持分法による投資損益(は益)	56,184	59,518
売上債権の増減額(は増加)	943,573	2,514,467
リース投資資産の増減額(は増加)	673,444	114,767
たな卸資産の増減額(は増加)	394,265	665,130
前渡金の増減額(は増加)	44,741	323,684
その他の流動資産の増減額(は増加)	43,647	71,046
仕入債務の増減額(は減少)	1,167,504	1,431,673
前受金の増減額(は減少)	466,155	124,419
未払消費税等の増減額(は減少)	51,657	73,318
その他の流動負債の増減額(は減少)	225,130	382,447
受注損失引当金の増減額(は減少)	43,045	-
その他	4,326	5,698
小計	3,264,824	5,903,816
利息及び配当金の受取額	171,796	276,640
利息の支払額	590	-
法人税等の支払額	1,488,813	1,868,198
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,947,217	4,312,258
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	1,557,127	1,288,137
定期預金の払戻による収入	980,000	1,077,752
有形固定資産の取得による支出	35,076	23,845
無形固定資産の取得による支出	10,408	554
投資有価証券の取得による支出	1,206,636	1,010,476
投資有価証券の売却による収入	20,121	-
有価証券の償還による収入	1,200,000	-
関係会社株式の売却による収入	30,000	76,000
その他	8,055	4,356
投資活動によるキャッシュ・フロー	571,071	1,173,617
財務活動によるキャッシュ・フロー		
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	-	134,190
短期借入金の返済による支出	75,000	-
配当金の支払額	870,912	1,088,734
非支配株主への配当金の支払額	64,516	125,862
その他	-	331
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,010,429	1,349,118
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,089	11,327
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	364,627	1,800,850
現金及び現金同等物の期首残高	12,723,527	15,676,249
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,088,155	17,477,100

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 保証債務

関連会社の金融機関からの借入金に対して行っている債務保証は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
D&A Technology Co., Ltd.	64,562 千円	30,086 千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
現金及び預金	14,530,954 千円	18,982,413 千円
預入期間が3か月超の定期預金	1,574,727	1,473,347
株式給付信託別段預金(注)	36,461	50,257
有価証券勘定	168,389	18,292
現金及び現金同等物	13,088,155	17,477,100

(注) 株式給付信託(J-ESOP)及び株式給付信託(BBT)に属するものであります。

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月21日 定時株主総会	普通株式	435,103	40	2018年3月31日	2018年6月22日	利益剰余金
2018年10月22日 取締役会	普通株式	435,103	40	2018年9月30日	2018年12月7日	利益剰余金

(注) 1 2018年6月21日定時株主総会決議による配当金支払額の総額には、株式給付信託(J-ESOP)及び株式給付信託(BBT)の信託財産として資産管理サービス信託銀行(信託E口)が保有する当社株式に対する配当金8,040千円を含めて記載しております。

2 2018年10月22日取締役会決議による配当金支払額の総額には、株式給付信託(J-ESOP)及び株式給付信託(BBT)の信託財産として資産管理サービス信託銀行(信託E口)が保有する当社株式に対する配当金8,040千円を含めて記載しております。

3 当社は2019年4月1日付で1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、上記は当該株式分割前の配当額を記載しております。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間末後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月20日 定時株主総会	普通株式	543,879	50	2019年3月31日	2019年6月21日	利益剰余金
2019年10月23日 取締役会	普通株式	543,878	25	2019年9月30日	2019年12月6日	利益剰余金

- (注) 1 2019年6月20日定時株主総会決議による配当金支払額の総額には、株式給付信託（J-ESOP）及び株式給付信託（BBT）の信託財産として資産管理サービス信託銀行（信託E口）が保有する当社株式に対する配当金10,040千円を含めて記載しております。
- 2 2019年10月23日取締役会決議による配当金支払額の総額には、株式給付信託（J-ESOP）及び株式給付信託（BBT）の信託財産として資産管理サービス信託銀行（信託E口）が保有する当社株式に対する配当金9,985千円を含めて記載しております。
- 3 当社は2019年4月1日付で1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2019年6月20日定時株主総会決議による1株当たり配当額は当該株式分割前、2019年10月23日取締役会決議による1株当たり配当額は当該株式分割後の配当額を記載しております。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間末後となるもの
該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	四半期 連結損益計算書 計上額（注）
	PLM事業	EDA事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	31,278,272	1,365,658	32,643,930	-	32,643,930
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,532	10,265	13,797	13,797	-
計	31,281,804	1,375,923	32,657,728	13,797	32,643,930
セグメント利益	3,627,290	39,835	3,667,126	-	3,667,126

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	四半期 連結損益計算書 計上額（注）
	PLM事業	EDA事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	33,949,045	1,378,416	35,327,461	-	35,327,461
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,134	5,696	8,831	8,831	-
計	33,952,179	1,384,113	35,336,292	8,831	35,327,461
セグメント利益	4,665,132	84,036	4,749,168	-	4,749,168

（注）セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

前第3四半期連結会計期間（自 2018年10月1日 至 2018年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	四半期 連結損益計算書 計上額（注）
	PLM事業	EDA事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,189,831	436,424	10,626,255	-	10,626,255
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	3,358	3,358	3,358	-
計	10,189,831	439,782	10,629,613	3,358	10,626,255
セグメント利益	1,298,837	12,913	1,311,751	-	1,311,751

（注）セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結会計期間（自 2019年10月1日 至 2019年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	四半期 連結損益計算書 計上額（注）
	PLM事業	EDA事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,737,216	438,784	11,176,001	-	11,176,001
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	1,897	1,897	1,897	-
計	10,737,216	440,682	11,177,898	1,897	11,176,001
セグメント利益	1,436,222	7,620	1,443,843	-	1,443,843

（注）セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 2018年 4 月 1 日 至 2018年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 2019年 4 月 1 日 至 2019年12月31日)
(1) 1 株当たり四半期純利益金額	121円93銭	153円41銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円)	2,603,632	3,275,982
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額 (千円)	2,603,632	3,275,982
普通株式の期中平均株式数 (株)	21,353,249	21,354,934
(2) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額	121円93銭	153円41銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額 (千円)	5	8
普通株式増加数 (株)	-	-
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1 株当たり 四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前 連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

	前第 3 四半期連結会計期間 (自 2018年10月 1 日 至 2018年12月31日)	当第 3 四半期連結会計期間 (自 2019年10月 1 日 至 2019年12月31日)
(1) 1 株当たり四半期純利益金額	42円85銭	48円92銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円)	914,902	1,044,682
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額 (千円)	914,902	1,044,682
普通株式の期中平均株式数 (株)	21,353,427	21,355,673
(2) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額	42円85銭	48円92銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額 (千円)	0	1
普通株式増加数 (株)	-	-
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1 株当たり 四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前 連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(注) 1 株式給付信託 (J-ESOP) 及び株式給付信託 (BBT) が所有する当社株式を、1 株当たり四半期純利益及び潜在
株式調整後 1 株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めており
ます (前第 3 四半期連結累計期間401,911株、当第 3 四半期連結累計期間400,178株、前第 3 四半期連結会計期
間401,733株、当第 3 四半期連結会計期間399,400株) 。

2 当社は、2019年 4 月 1 日付で普通株式 1 株につき 2 株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の
期首に当該株式分割が行われたと仮定して 1 株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後 1 株当たり四半期
純利益金額を算定しております。

2 【その他】

2019年10月23日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額.....544百万円

(ロ) 1 株当たりの金額.....25円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....2019年12月 6 日

(注) 2019年 9 月30日現在の株主名簿に記載または記録された株主に対し、支払いを行いました。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年2月7日

株式会社アルゴグラフィックス

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 芝田 雅也 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 菊池 寛康 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社アルゴグラフィックスの2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(2019年10月1日から2019年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社アルゴグラフィックス及び連結子会社の2019年12月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。